

肺癌を合併した抗酸菌感染症患者に対するイソニアジド（INH）の抗腫瘍効果の研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年8月17日～2023年3月31日

〔研究課題〕

肺癌を合併した抗酸菌感染症患者に対するイソニアジド（INH）の抗腫瘍効果

〔研究目的〕

2021年5月のScience誌と6月のNature誌では、monoamine oxidase inhibitor（MAOI）に抗腫瘍効果があることが報告されました。イソニアジド（INH）は抗酸菌の治療薬であり、MAOIの作用も併せ持ちます。

〔研究意義〕

INHは大変安価であることから、抗腫瘍効果が確認できたら世界的にも恩恵が期待できます。

〔対象・研究方法〕

本研究ではINHの抗腫瘍効果を確認できる目標症例数を50例と設定し、多施設共同後ろ向き観察研究を計画しました。2000年1月1日から2021年7月20日まで「INH内服」と「肺癌あるいは肺癌疑い」をキーワードで患者さんを抽出します。

〔研究機関名〕

帝京大学附属病院腫瘍内科
横浜市立大学附属病院
市立島田総合医療センター

研究責任者：陳 昊
研究責任者：金子 猛
研究責任者：小林 淳

情報管理責任者：陳 昊
情報管理責任者：金子 猛
情報管理責任者：小林 淳

〔個人情報の取り扱い〕

情報を取り扱う際には研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化します。また発表する際に集計値として結果を取りまとめるため、患者さんの同定はできません。

〔その他〕

医学における利益相反はありません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 陳昊 職名 助手
所属： 帝京大学医学部附属病院腫瘍内科
住所： TEL： 03-3964-1211（代表）〔内線 16288 〕